

にしお 市議会だより

～あなたの気づきが明日のNISHIOをつくる～

2024
11 月号

No.156

〔編集・発行〕
西尾市議会
〒445-8501
愛知県西尾市寄住町下田22
TEL:0563-65-2182(直通)



9月定例会を9月2日から27日まで26日間の会期で開催しました。
9月3日、4日、5日には、14人の議員が市政について一般質問をしました。

表紙に掲載する写真を
募集しています！
議会事務局 (TEL 65-2182)
にお問い合わせください。

CONTENTS

一般質問…………… 2～8
トピックス……………9
決算認定……………10～13

審議結果……………14～15
お知らせ・編集室……………16

にしお市議会だよりは
西尾市役所ホームページ
でも見るができます。



一般質問 Q & A



新政令和
松井 晋一郎
議員



詳細は
スマホで
チェック!



人口減少・少子化対策への取組を

Q 妊婦の方や子育て世帯が安心して出産・子育てできるための支援はどのようなか。

A 妊娠から出産・子育てまで切れ目なく寄り添う「伴走型相談支援」に取り組んでいる。妊娠届出時や妊娠8カ月のプレママ相談時、出産後の訪問時の個別面談などを通じて必要な支援を行っている。また、医療機関等とも連携し、支援の必要な家庭の早期把握に努めるとともに、個別に家庭訪問を実施し、子育てに関する不安や悩みに対する助言、情報提供を行っている。

Q 移住・定住支援に力を入れている自治体では、支援サイトを公開している。検討する人の視点に立ったサイトの導入を検討しないか。

A 移住・定住先として選ばれるためには本市の魅力伝えていく必要がある。本市独自の移住・定住支援メニュー、生活情報等が一覧できるようなサイトが必要と考える。

Q 作成スケジュールはどのようなか。

A 今年度は「人口減少対策現状把握調査」に基づいて、支援策の整理を行う。先進事例を調査研究し、令和7年度の実装を目指す。

介護・障害福祉サービスの各課題は

Q 個人対象の「西尾市介護職員初任者研修受講料補助金制度」と事業者対象の「西尾市介護保険関係研修受講料補助金制度」の実績と事業所等の反応はどのようなか。

A 7月末までで、個人1人、6事業所13人分の補助金交付を決定している。事業所からは研修受講料補助金は非常に助かるとの感謝の声を聞いている。

Q 障害福祉サービス事業所の増加に伴い、不正請求問題など多数発覚している。本市の現状はどのようなか。

A 株式会社恵が運営しているグループホーム及び生活介護による虚偽の職員配置等がある。

Q 不正事案が発生しないための考え、取組姿勢はどうか。

A 可能な限り地域連携会議に参画し、現場の実態を把握していきたい。

保育士希望者を増加させるために

Q 保育士希望の学生を確保するために取り組んでいることはあるか。

A 保育・教諭職業養成大学を訪問している。就職説明会や卒業生である職員が母校に出向いて話をするなど努めている。

Q 保育士を希望する学生を増やすために、修学支援金制度を導入しないか。

A 市として独自に行っていくことは考えていないが、県が愛知県社会福祉協議会に委託して行っている制度があるので、学生へ制度の周知を行う。

Q 潜在保育士に対して、週1、2日勤務を始めないか。

A 潜在保育士が週1、2日の勤務からスタートすることは徐々に現場に慣れていく上では良い面もあるが、子どもとの関係性の部分も考慮していきたい。勤務日数が少ない働き方も一つの考え方であると認識している。



資質向上をめざす無所属の会
佐々木 映美
議員



詳細は
スマホで
チェック!



るので、状況に応じて考えていきたい。

Q 保育士に独自の手当を付けることはできるか、できないか。

A 独自の手当を支給することも可能だが、現時点では考えていない。

地域ブランド「西尾の抹茶」を守るために

Q 本市における茶農家数と見込みはどのようなか。

A 平成31年時点では、108人、令和6年では87人である。今後の見込みは、引き続き減少傾向である。

Q 全ての茶農家を支援する施策を検討しないか。

A 国や県の補助事業については、基本的に全ての茶農家が対象となっているが、規模の小さい生産者ではあまり活用されていないのが実情である。また、昨今の肥料や資材の高騰などにより、生産者からは、より手厚い支援の要望も聞いているが、茶農家に限った支援をすることは難しい。

一般質問 Q & A



自民隆盛会
松崎 隆治
議員

保育・育児環境の充実を

Q 保育の質の向上のためにどのようなことを行っているのか。

A 研修計画を毎年作成し、立場や職種に応じて選択し、受講できるようにしている。

Q 地震などの災害に対する指導や研修はされているのか。

A 行動マニュアルがあり、基準を定め適切な行動をとるよう指導している。

Q 子育て世代のサポートのために孫育児休暇を導入しないか。

A 休暇の内容や取得の条件などを職員組合と協議し、導入に向けて前に向きに検討していく。

自動運転バスの導入に向けた検討を

Q 将来の運転手不足に対する策として、自動運転バスの導入を市はどのように捉えているのか。



詳細は
スマホで
チェック!



A 運転手不足解消につながるものと認識している。

Q 技術革新が進む中で、乗り遅れないためにも、今から自動運転バスの導入を検討しないか。

A 導入の可能性について模索していく。

らくくつ窓口について

Q らくくつと窓口導入後、市民からどのような意見があったか。

A 発行が簡単にできるという意見や申請が集中するときは長時間待つケースもあった。

Q 苦情について把握しているか。

A 把握している。

Q 市民に寄り添った窓口になるよう、待ち時間の短縮にどのように努めているのか。

A 対応する窓口職員から得られた要望事項をシステム改善につなげ、よりよい仕組みになるよう努めている。今後は、必要事項の入力を事前に行える方法などを研究していく。



新しい風
福西 章人
議員

今より利用したくなる公園の実現に向けて

Q ボール遊びが禁止になっている公園があるが、制限の緩和を考慮しないか。

A ボール遊びが可能な広さの公園で、地元要望によりボール遊びを禁止している公園については、要望した地元町内会及び近隣住民の方々と、ボールを使って遊ぶ際の公園の利用方法について調整し、制限の緩和を進めたい。

Q ペットと一緒に公園を楽しめるドッグランの設置を検討しないか。

A 設置には、トラブルが起きないような施設の管理運営体制や飼い主のマナー向上を指導啓発するためのボランティア団体の育成も課題となっている。しかし、近年はドッグランの設置について、町内会からの要望や市民からの声があるので、公園内に設置された事例などを調査していきたい。

野犬のいない西尾市に

Q 野犬捕獲数が県下で上位が続いている理由、また、その状況をどのように考えているか。

A 本市は他市と比較して、山や田畑などがあり、それらが野犬の生息しやすい環境になっていること、また、人口割合が高く目撃されやすいため、通報者が多いことが考えられる。上位が続いている状況は、大変遺憾に感じている。

Q 野犬をなくすためにできる具体的な取組は。

A 毎年、町内会長に配布している「町内会長に依頼する事務説明書」に野犬の捕獲に関する内容を掲載し、市内全域に野犬の捕獲について周知していく。



一般質問 Q & A



公明党西尾市議員
大河内 博之



詳細は
スマホで
チェック!



移動手段の確保は

Q いっちゃんバス廃止後に導入する予定の相乗りタクシーの全容はどのようなか。

A 一色地区に導入予定の相乗りタクシーは、利用者の自宅と一色地区内の病院や商業施設など、市で指定した目的地との間を運行するサービスとなる。

利用者からの予約に応じて、時間帯と発着地が近い利用者同士でマッチングを行い、マッチングができた場合に相乗り運行になる。運賃は一人200円の予定である。指定の目的地は、既存のバス路線との競合を避けるため、一部制限をかけて運行することを想定している。

一色地区内の住民説明会は、年明け頃に小学校区ごとに開催を予定している。

運行業者は市内のタクシー事業者を想定しており、導入するシステム

業者は秋以降に決定する見込みで、詳細について調整していく。

Q 不要となったバスを吉良吉田駅から吉良町の沿岸エリアまでを結ぶ観光バスとして利用してはどうか。

A 過去には、夏休み期間中の土・日・祝日限定で、吉良吉田駅から宮崎地区までの区間でバスを運行したこともあるが、費用対効果などを検証した結果、実施には至らなかった。近年は、バスを始めとする公共交通全般で慢性的な運転手不足であるため、市が観光バスとして利用するのは大変難しい。

Q 市として観光バスを運行することが難しいのであれば、官民連携で地域課題の解決を目指す「民間提案制度」を活用してはどうか。

A 観光振興に向けた二次交通の充実、行政だけでは解決できない課題である。民間提案制度の活用は、観光客の移動手段の確保と観光振興による地域活性化を目指すための有効な手段となるため、今後、検討していく。



日本共産党西尾市議員
前田 修



詳細は
スマホで
チェック!



里山の保全と佐久島の自然保護を

Q 里山の保全に向け、市としてどのような取組ができるか。

A 先進地では、民間企業と連携して、間伐や植林など里山の保全活動をしている。本市においても官民連携に努めていきたい。

Q 本市に生息する絶滅危惧種を保護するための課題はなにか。

A 里山の竹林化、集中豪雨による土砂崩れ、不法投棄などで里山が脅かされており、適切な竹林整備などが課題となっている。

Q 吉良や沖島にも貴重な植物が生息している。まずは、調査し、保護する活動が必要ではないか。

A 市としてもできることに限界があり、県と連携していきたい。

Q 佐久島の里山保全や希少植物保護はどうか。

A 地域おこし協力隊員が調査をし、分布や生息の確認作業を行っている。現状は希少植物と知らずに除草作業で刈ってしまったり、放置竹林が原因で生育できないことがある。

正しく情報提供し、保全活動に努めたい。

名鉄西尾・蒲郡線の存続と支援は

Q 令和8年度以降の存続のための上下分離方式の協議は、西尾駅・蒲郡駅が、吉良吉田駅・蒲郡駅が大きな問題となる。現在、西尾駅・吉良吉田間は利用者があり、国の示す再構築基準を上回っている。吉良吉田・蒲郡間を対象として考えるべきだろうか。

A 貴重な指摘であり、今後、精査していく。

Q どれほどの費用になるのかは、名鉄が試算し、検討会で精査することだが、名鉄の言いなりとならないよう、ほかの機関・民間コンサルに依頼したらどうか。近江鉄道の協議会には、学識経験者として大学教授も参加しているがどうか。

A 民間コンサルはいろいろな業務等が入っている。第三者に入っていることも考えの一つと思う。

※注1 上下分離方式とは、列車の運行(上)は従来通り鉄道事業者、土地、線路、駅などの鉄道施設は自治体が保有(または保有したとみなす)する形態。

一般質問 Q & A



資質向上をめざす無所属の会
鈴木 規子 議員



詳細は
スマホで
チェック!



1市3町合併効果の検証は

Q 合併から14年、電子証明書発行等で支所業務自体が縮小している。実態にあった形態を検討しないか。

A 今後、市役所の在り方は変わってくる。第7次行財政改革実行計画で検討すべき課題と考えている。

Q 旧西尾市の学校給食は自校方式だが今後どうするのか。

A 自校とセンター方式、一部の学校敷地内で複数校をまとめて調理する親子方式がある。現在、学校給食運営協議会で検討をしている。

Q 合併後も小中学校の学区制は変わっていない。近くの学校に通える選択的学区制を検討しないか。

A 現在は検討していないが、保護者や地域のニーズを注視していく。個別の事情には「指定学校変更及び区域外就学許可基準」で対応している。

児童クラブの委託計画は

Q 児童クラブ運営業務公募型プロ

ポーザル実施要領が公表されたが1者入札では競争性が担保されない。2者3者以上でなければ、公募をやり直すべきと思うがどうか。

A 応募が1者でも基準を満たしていれば選定する予定である。

Q 民間委託によって、職員の処遇はどうなるのか。賃金は今より下がらないというが、状況を把握できる体制をとれるのか。トラブル防止策をどのように講じるのか。

A 把握はできない。賃金減額や不当な雇用形態はあつてはならない。不当なトラブル防止にはモニタリングやアンケート調査を行う。

Q 市はこれまで直営で年間3億3千万円、委託すると3億6500万円かかると言ってきたが、公募要領では年間4億1800万円余と大幅に増えている。積算根拠はどのようか。

A 人件費3億5300万円、消耗品等約921万円、支援員等教育費約709万円、受託業者管理費が約4355万円等となっている。



自民隆盛会
神谷 雅章 議員



詳細は
スマホで
チェック!



名鉄上横須賀駅周辺のまちづくりは

Q 駅東ロータリーの整備状況は。

A 令和8年度から工事に着手予定である。

Q 駅周辺の土地区画整理事業の進捗状況はどうか。

A 本年度に懇談会や説明会を開催し、現在は仮同意の収集を行っている。

Q 駅西側の「まちづくり」も検討すべきと考えるがどうか。

A 地元からの意見などを踏まえて考えていく。

Q 駅西側に都市計画道路上横須賀富田線が位置づけられているが、今後のまちづくりを検討する中で、どのように考えていくのか。

A 都市計画道路の必要性を再検証し、必要に応じた変更・見直しを行う。

Q 解体予定のコミュニティ公園体育館・管理棟の解体はいつ頃か。また、新たな体育館整備についての考えはどのようか。

A 令和8年度中に解体を行い、新たな体育館の整備は、吉良町地内で

今後検討していく。

契約を解除した「西尾市方式PFI事業」は

Q 市は令和4年3月31日をもって契約解除をしたが、その後の経過はどのようか。

A 増加費用等請求訴訟が残っている。和解協議は打ち切れ、9月27日に判決が言い渡される。

Q この問題の終局的解決はどのように行うのか。また、いつ頃を見込んでいるのか。

A エリアプラン西尾からの訴訟の中で解決していく。解決には相当の時間が必要と考えている。

一色町時代からの産業廃棄物最終処分場跡地周辺の環境整備について

Q 処分場跡地には、どのような産業廃棄物が埋設しているのか。

A 把握していない。

Q 県は、本市が全面的に産業廃棄物最終処分場建設を反対していることを理解しているのか。

A 理解しているものと考えている。

一般質問 Q & A



公明党西尾市議団
大塚 久美子
議員

認知症の人に寄り添った 地域社会の構築を

Q 認知症に関する知識及び認知症の人に関する理解を深める取組はどのようなか。

A 主な取組としては、認知症サポーター養成講座がある。認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めるため、認知症の人や家族を温かく見守り、優しく接していただけの人を増やそうと、これまでに1万2千人以上の市民が受講している。

また、市では認知症啓発イベントとして前年度から「オレンジフェスタ」を開催している。このほかにも認知症に対する正しい理解を広めていく取組を行っている。

Q 認知症の行方不明者に対して、GPS端末の積極的な活用や衣服等に貼れるQRコードが記載されたシール等の普及促進など、生命を守る取組を推進すべきである。積極的

な活用に向けての負担軽減策の実施を考えないか。

A GPS端末を活用した負担軽減策とQRコードつきの見守りシール配布についての調査研究に対する結果を速やかに判断し、できる限り早期に何らかの対策を講じていきたい。

生活困窮者等に 安心の住まいの提供を

Q 包括的な支援体制である重層的支援体制整備事業への移行を調査研究する中で、居住支援をどのように考えているのか。

A 居住支援は、孤独・孤立化対策や就労支援と合わせて非常に重要な支援ニーズであるという認識はしている。具体的な取組を計画するところまでは着手していないが、地域の社会資源を活用して多彩な支援メニューを設計する参加支援事業の一環として、居住支援に取り組みないか、今後検討していく。



詳細は
スマホで
チェック!



新しい風
牧 一心
議員

名鉄西尾・蒲郡線の存続 に向けた再構築案は

Q 国がローカル線の再編を進める基準では西尾線は上回っているのに対して、蒲郡線は基準を下回っているという認識に間違いはないか。

A 令和4年度の輸送密度は西尾線が1日当たり4265人、蒲郡線が1日当たり1586人である。国の判断基準として、輸送密度4000人未満の区間であるか否かが目安であり、その認識で間違いはない。

Q 地域住民や利用者の意見をどのように反映させていくか。また、名鉄との直接対話の場を設けるよう要望を出すことは可能か。

A アンケート調査を活用していく。市として名鉄に議員からの要望として伝えることは可能である。

Q 市長自身は、路線の存続に対してどのように取り組んでいく考えか。

A 存続が最優先ではあるが、運行方式はおそらく変わる。その協議は

閉じられた場で結論が決まるのはよくない。市民の声を受け止めた上で結論を導きたい。そういう場を議会としても作り、理事者側と議会が一緒になって取り組んでいく必要がある。

放課後児童クラブの充実 に向けて

Q 民間と連携をして力を活用していくべきだと思うが、どのように考えるか。

A 今後、児童クラブ運営を検討している事業者があれば、積極的に支援することや充実を図ることができるとともに、待機児童の削減にもつながると考えている。

Q 放課後児童クラブと放課後子供教室の連携する計画を策定していないか。

A 策定を進めている「子ども計画」の中で、児童クラブと放課後子供教室をはじめ、多種多様な居場所づくりを検討していく。



詳細は
スマホで
チェック!



一般質問 Q & A

日本共産党西尾市議団
牧野 次郎 議員詳細は
スマホで
チェック!健康保険証廃止に対し
市民へ正確な情報提供を

Q マイナカード取得は義務でなく任意であることの周知をしないか。

A 市ホームページで周知し、増加している市民からの問い合わせでも「取得は任意」と伝えている。

Q 紙の健康保険証は有効期限まで使え、期限後も同様に使える資格確認書が交付されるが、周知はどのようか。

A 9月に一斉更新を行い、チラシを同封するとともに市ホームページでも周知をしている。移行後も有効期限まで使用でき、その後も、保険証の代わりとなる資格確認書が申請しなくても交付されると記載している。

Q マイナ保険証を持っていないくても、これまでと同様に医療機関に不利益なく受診できることの周知が必要と考えるか、どうか。

A 資格確認書により受診が可能と周知をしている。

国民健康保険税
子ども均等割軽減を

Q 自治体によっては子どもの均等割分を応援金や支援金として給付しているがどうか。

A 群馬県渋川市、滋賀県米原市、県内では大府市が行っている。国からは国基準を超えて市独自で行うことは適切ではないとの判断が示されており、国保会計内で軽減する代わりに一般会計で金銭給付を行うのも望ましくないものと理解している。

Q 本市でも国保税の子どもの均等割額の軽減を、支援方式で実施を検討しないか。

A 子育て支援策において、どの施策を優先的に取り組むか、慎重に検討が必要だが、国の制度の動向を注視したい。

その他の質問

・「南海トラフ地震臨時情報」の発表に伴う対応と今後について
・「にしお得ーポン」について

使用料徴収後の屋外体育
施設管理の充実を

Q 少なくとも主な利用者であるスポーツ協会の加盟団体から意見を聞く機会を設けないか。

A 施設の維持管理や修繕に利用者がどのような意見を持っているか、今以上の管理を望むのか等の聞き取りをする機会を設け、今後の施設運営の参考にした。

Q 使用料を徴収するのなら、施設管理の充実をすべきではないか。

A 現在の使用料は、維持管理費相当分負担料金設定のため、施設管理の水準に変更はない。使用料の負担で一般財源の負担が軽減されている。さらなる充実を求める声が多く寄せられるなら、理想的な施設の維持管理料金を算出し、改めて使用料の改定を行う必要がある。

Q 今後の維持管理の方針について、市長の考えは。

A 今回の使用料は、コミュニケーション不足に問題があった。より良い施設の維持管理のため、お互いが知恵を出し、より改善をして利用者

新しい風
中根 志信 議員詳細は
スマホで
チェック!厳しさを増す財政運営の
今後の方針は

Q 物価高騰の影響で、町内会等からの工事要望は例年と同額では施工件数が減少する。市長は当初予算から増額をする考えはないか。

A 物価の基調が変わった時、当初予算の考え方も修正が必要。議会の意見や市民の声を聞きながら、当初予算の方で判断していきたい。

Q 新たな財政確保の聖域なき行財政改革として、本年度の人事院勧告に明記された「地域手当」の支給割合見直しの考えは。市民に分かりやすい検討の見える化をすべきでは。

A 人事院勧告などおりの支給割合の改訂の必要性は理解しているが、優秀な人材確保に一定の給与水準確保が必要。人事院勧告水準を上回るのは非常に厳しい。議会の意見等も聞き、職員組合と協議して決定したい。

一般質問 Q & A



西尾みらい
山本 道代
議員



詳細は
スマホで
チェック!



人生100年時代を見据えた介護予防の活性化を

Q ひとり暮らしの高齢者数と高齢者のみの世帯の推移はどのようなか。また、地区別の高齢化率はどうか。

A ひとり暮らしの高齢者数は令和元年が6458人、今年が8033人である。10年間で3257人、約1.7倍増加した。高齢者のみの世帯数は、令和元年が4777世帯、今年が7078世帯である。10年間で4537世帯、約2.8倍増加している。地区別としては、西尾北部は23.9%、西尾南部は23.6%、一色は29.3%、吉良幡豆は30.7%である。

Q 要支援・要介護者等の現状と今後の推移はどのようなか。

A 今年5月末の認定者数は、7061人。今後の推移は、2040年には8414人で約1.2倍に増加すると推計している。

Q フレイルに当たる人の把握はどのようなか。

A 主に3つの方法で把握している。第1は、リハビリ等の通所型サービ

スやヘルパー等の訪問型サービスを受ける人に実施する日常生活に関する「基本チェックリスト」から、第2に高齢者地域見守り事業の協力事業所や地域の民生委員や町内からの情報、第3に地域包括支援センターによる「73歳訪問」からである。

今年度からの新たな取組の「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業」では、希望団体にフレイル予防についての講話とフレイルチェックも行っている。

Q 介護予防施策に対する具体的な取組と利用状況は。また、まちの健康教室の講師の人数と年齢層はどのようなか。

A まちの体操教室は週1回44会場、延べ2万9915人利用があった。シルバー元気教室は月2回、22会場、8904人利用があった。高齢者通いの場合は週1回から2回の開催で、48会場、延べ3万4777人利用。

講師は現在46人でうち30代以下が3人、50代6人、60代22人、70代14人、80代1人である。年齢層は60代や70代のシニア世代が多い。



資質向上をめざす無所属の会
杉浦 功記
議員



詳細は
スマホで
チェック!



小学校プール全体計画の是正を

Q 維持管理費は、新温水プールの計画値約4600万円に対し、新設の参考とした県外プールの実績値が8700万円であった。年間約4千万円、50年で20億円以上の乖離が生じる可能性があるが、適正額にコストを見直すべきではないか。

A 計画の結論が変わるものではなく、見直すことは考えていない。

Q 現在の計画値4600万円に収まるよう検討委員会で考えるのか。

A 計画値に収まるような施設規模や運営手法を考えることはないが、市の財政負担を極力抑える検討が必要だと認識している。

Q 水泳授業委託料は、学級単価の計画値5万6400円に対し、令和6年度は6万1150円であり、上昇率は2年間で8%以上となった。インフレを踏まえてシミュレーションし直すべきではないか。

A 計画の結論が変わるものではなく、変動シミュレーションで計画を見直すことは考えていない。

ホワイトウェイブ21の運営改善に向けて

Q 利用料金を、一律制ではなく、季節や利用者の住所地（市民が市外一般）等によって変動させないか。

A 夏季の繁忙期で入口が混雑する中、住所地を確認すると待ち時間が増え、現実的ではない。料金改定の必要性は指定管理者の意向を確認しながら検討していきたい。

Q 繁忙期の価格を高くして混雑緩和や売上増加につなげ、閑散期に安くして来場を促すダイナミックプライシングが様々な場で採用されている。プールのニーズが高い夏季は、適正な値上げならば利用者の減少は限定的と考えるがどうか。

A ダイナミックプライシングの導入は大変有効である。値上げは今後避けられない。収益が上がれば指定管理料の抑制につながるため、次の指定管理者選定までに導入を検討する。

その他の質問

・学校体育授業における熱中症マネジメントについて

トピックス

西尾について学ぶ市役所参観日

夏休みの親子向けイベント「西尾について学ぶ市役所参観日」が8月1日と27日に開催されました。小学生とその家族30組が市役所の庁舎内の各課を巡り、クイズラリーなどを通して行政の役割などを学びました。議場では、議長席や市長席に座って楽しんでいました。



市役所参観日の様子

学生議会

「学生議会」が8月23日に市役所議場で開催されました。市内中学校及び義務教育学校に通う10人の生徒が、地域社会の一員として、豊かな感性と自由な発想で考えたまちづくりに関する意見や提案などを発言しました。



学生議会の様子

第42回白瀬隊長を偲ぶ会

日本初の南極探検隊長となった故・白瀬矗中尉の功績をたたえる「白瀬隊長を偲ぶ会」が9月1日に瀬門神社社務所で開催されました。議長をはじめ関係議員が参加しました。



白瀬隊長を偲ぶ会の様子

西尾市平和記念戦没者追悼式

先の大戦で国に殉じた市内3,930人の戦没者に対し哀悼の意を捧げる「西尾市平和記念戦没者追悼式」が9月21日に一色地域交流センターで挙行されました。



追悼の辞の様子

西尾市インターンシップの受入れ

公務員を志す意欲のある学生に対し、西尾市職員としての就労イメージを具体化させ、インターンシップを通じて西尾市職員の魅力を感じてもらうため、9月24日に学生2人を議会事務局に受入れしました。議会に関する事務や会議に参加するなどの体験をしました。



正副議長へのあいさつの様子

決算認定

令和5年度決算を認定

令和5年度一般会計・特別会計・企業会計の歳入歳出予算の執行実績である決算を審査するため、9月10日～13日の4日間にわたり、予算決算委員会各分科会を開催しました。

慎重審査の結果、全ての会計が適法かつ正当に行われたものであると認定しました。ここでは、その審査した内容の一部を紹介します。

企画総務分科会

Q ふるさと納税の実質的な収支は。

A 令和5年度は、25億3660万5500円の寄附に対し、返礼品が13億9045万9243円で経費割合は54.8%。市民が他の自治体に寄附したことによる市民税控除額は5億1555万9275円で、ふるさと納税による実質収支は5億8696万4886円の黒字となった。



Q 退職手当4億1767万4547円の対象人数は。

A 特別職2人分1411万8780円と一般職40人分4億355万5767円の合計42人分であった。

Q 財政調整基金と地方債の残高は。

A 令和5年度末の財政調整基金残高は、65億3546万4千円。地方債は、311億3999万4千円となった。

Q 市役所市民課らくっと窓口システム導入による具体的成果と実績や次年度以降の改善や取組は。

A 転出届やマイナンバーカードの各種手続きに関する申請書の記入が不要となった。住民票の写しや印鑑登録証明書の発行は、コンビニ交付と同様に画面の指示に従って操作を行うことで、簡単に証明書を発行できるようになった。

導入から3月末までの実績は、証明書交付機能では住民票の写しが177件200部、印鑑登録証明書が80件110部、申請書作成機能では転出届288件、マイナンバーカードの各種手続きに関する申請1040件だった。

次年度以降の改善は、市民課以外の業務や機能の拡大と受付時の入力項目の見直しやRPAを活用した入力作業の自動化などを行い、市民の滞在時間の短縮や職員の業務負担の軽減につなげていく。

Q 市制70周年記念の市民公募事業補助金(35件1887万円)で市内の多くの団体が事業を実施したが、今後の参考となるような特徴的な事業はあったか。

A 一般的に行政が実施するイベントと比べ、ニッチなイベント等が自由な裁量で幅広く実施された。特徴的なものはプロレス、音楽、アート、ラジオなどを組み合わせたエンターテインメントコンサートや、テレビの人気番組をモチーフにしたゴミ拾いイベントのように愛知県内初開催となる企画や、みどり川でおもちゃのアヒルによるレース企画、にしがま線の車両をフレンチレストランに見立てた企画など、新たなにぎわいが創出された企画が多くあった。

Q 消防団員の定員に対する充足率と団員確保への対策は。

A 令和5年4月1日付の団員数は、基本団の一世団109人、吉良団63人、幡豆団46人の計218人で、定員296人に対する充足率は73.6%。機能別消防団は総員279人で、定員347人に対する充足率は80.4%であった。

団員確保では、操法発表会を普段の訓練成果を発表する技術発表会に変更し、観閲式と出初式を合同開催するなど団活動に対する負担軽減を図った。



Q 不納欠損額が市民税3208万円、固定資産税は1187万円。要件別件数と金額はどのようなか。

A 個人市民税は「滞納処分の執行停止」の停止事由1号「滞納処分できる財産のないもの」が371件で640万8871円、停止事由2号「滞納処分によって生活を著しく窮迫させる恐れのあるもの」が184件で310万8611円、停止事由3号「滞納者の所在及び財産がともに不明であるもの」が1149件で2147万8652円「消滅時効」は57件で81万7751円。法人市民税は、停止事由1号が5件で27万1900円。停止事由2号、3号及び消滅時効によるものはなかった。固定資産税は、1号が253件で1149万3821円、2号が23件で21万9529円、3号はなく、消滅時効によるものが32件で16万131円だった。

決算認定

厚生環境分科会

Q がん患者アピアランス(外見)ケア支援事業の成果はどのようなか。

A 令和5年度の補助実績は、医療用ウィッグ36件、乳房補正具13件。事業を開始した令和4年度と比べてウィッグ7件増、乳房補正具4件増で、徐々に申請件数が伸びている。

Q 不妊治療費助成事業の減少傾向の要因はどのようなか。

A 助成件数は、令和元年度343件、2年度315件、3年度373件、4年度239件、5年度152件で、4年度以降減少傾向にある。要因としては、4年4月から一般不妊治療と従来の特定不妊治療に相当する生殖補助治療が保険適用となったことで、治療者の費用負担が大きく軽減されることが考えられる。

Q 国民健康保険税の滞納状況はどのようなか。

A 収入未済額は、滞納者数2131人で488万2196円。不納欠損額の人数は352人で262万3127円。「滞納処分の執行停止」の停止事由1号「滞納処分できる財産のないもの」が75人で1001万8330円。停止事由2号「滞納処分によって生活を著しく窮迫させる恐れのあるもの」が47人で621万円。停止事由3号「滞納者の所在及び財産がともに不明であるもの」が218人で1418万3284円。「消滅時効」によるものが12人で58万6960円であった。

Q 利用状況は改善されているが、何が結果につながったか。

A 新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、受診控えが緩和され、開業医からの紹介患者数が令和4年度に比べ249人増加したことや、救急車を積極的に受け入れたことで搬送件数が611人増加したことが患者数の増加につながったと考えられる。

Q 不燃物埋め立て事業で、それぞれの最終処分場の埋め立て率はどのようなか。

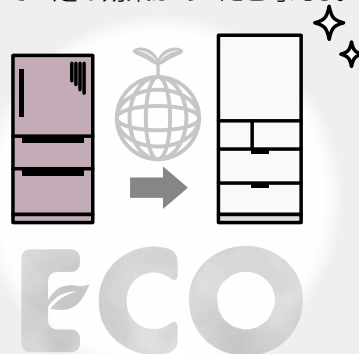
A 平原地区33.0%、一色地区67.9%、吉良地区64.6%、幡豆地区59.5%である。

Q 資源物取り出し状況で、資源物の売却金額と売却先の選定方法はどのようなか。

A 売却金額の内訳は鉄類2467万9144円、アルミ類453万3450円、その他の金属類378万2940円、紙類98万3580円、ビール・酒瓶5448円、小型家電は1672万1570円で総額5070万6132円であった。売却先はいずれも指名競争入札で決定している。

Q 省エネ家電購入費補助事業の効果はどのようなか。

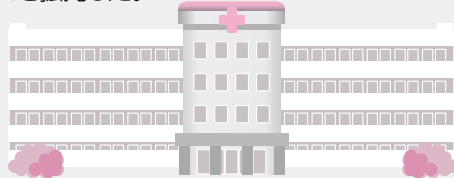
A 資源エネルギー庁によると、10年前に購入した冷蔵庫を買い替えると年間消費電力量で28～35%削減し、エアコンは15%削減できると言われている。今回の補助事業では合計4507世帯が省エネ家電を購入し、物価高騰対策、省エネ、さらにはCO2削減について一定の効果があったと考える。



Q 市から市民病院への繰入総額の推移と事業の成果はどのようなか。

A 一般会計からの繰入総額は、過去3年間においては19億円台で推移している。経営状況は、令和4年度と比較して患者数が増加し、医業収支は改善したものの新型コロナウイルス感染症対策事業補助金の大幅な減額によって経常収支は赤字幅が拡大してしまったと評価している。

令和5年度の成果は、4年度末に策定した西尾市民病院経営強化プランに基づき、レーザーセンターの開設、訪問看護ステーションの開設準備、公式YouTubeチャンネル作成、六万石くるりんバスのバス停付近のひさしの設置、安城更生病院との医師派遣連携体制の構築などを進め、様々なサービスを拡充した。



Q 新規で購入した医療機器の効果はどのようなか。

A 紫外線治療器と訪問看護ステーション用クライアント端末を新規に購入した。

紫外線治療器は、皮膚科で局所的にハイパワーの紫外線を照射することが可能で、短時間で高い治療効果が得られ、患者負担の軽減が図られるとともに効率的な診療が可能となった。クライアント端末は事務作業に欠かせないものとなっている。

決算認定

文教交流分科会

Q 養育支援家庭訪問事業(ホームスタート事業)の利用者の反応、またニーズをどのように把握しているか。

A 話を聞いてもらえてスッキリした、ゆっくりできた、育児や家事を一緒にしてもらいイライラが軽減されたなど、好意的な意見が多く、保護者の育児負担の軽減や保護者に安心感が得られていると認識している。ニーズは、調整役であるオーガナイザーが初回訪問時にニーズの聞き取りを行い、それを踏まえてホームビジターの訪問日などを調整している。

Q いじめ・不登校対策で、いじめの報告認知件数と不登校児童生徒の状況はどのようなか。

A 令和5年度は小学校1208件、中学校265件で、4年度比で、小学校は224件、中学校40件増であった。不登校児童生徒は、小学校186人、中学校399人で、4年度比では小学校13人、中学校26人増であった。

Q にしおチャレンジみらい塾の実績と効果はどのようなか。

A スポーツ関係36教室、文化関係34教室を開催し、1824人の参加があった。子どもたちが新しいことを始めるきっかけづくりの場として意義があるものと考えている。

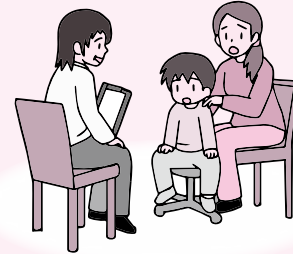


Q 体育館トイレ改修工事と特別教室エアコン整備事業の状況はどのようなか。

A 体育館トイレ改修工事は、体育館内にトイレがある学校全28校中、令和5年度末までに整備が完了した学校は8校で、整備率は約29%である。特別教室等空調設備整備工事は、全35校中、令和5年度末までに整備が完了した学校が10校で、整備率は約29%である。トイレ改修工事は、12年度を完了目標に、特別室空調設備工事は9年度を完了目標に進めている。

Q 家庭児童相談事業について近年、要保護・要支援を除く児童相談が増えているようだが、その傾向をどのように捉えているか。また、関係機関との連携により改善が図られているか。

A 発達障害など子どもの特性による育てにくさなど、子どもの要因によるものや、保護者の体調や思考など、保護者の要因によるもの、また孤立や経済困窮など環境の要因によるものなど様々な理由で育児負担が増え、親子関係の悪化が要因で不適切な養育に陥っている相談が増えていると捉えている。関係機関に早めに相談につないでもらうことで、早期に支援が開始され、その後も情報の共有や見守りなど支援的な関わりを継続することで虐待の予防、再発防止に繋がっている。

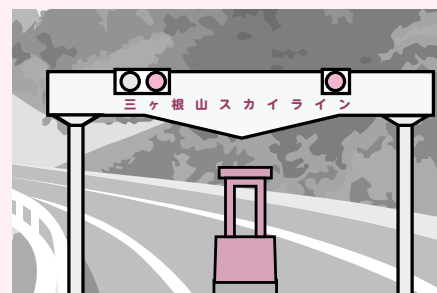


Q 養育費に関する公正証書作成促進給付金17万5525円の詳細は、どのようなか。また、相談業務との関連はどうか。

A 令和5年度から、ひとり親家庭の生活の安定を図るために4万円を限度として公正証書の作成料を給付しており、5年度は7人に給付した。相談業務との関連は、母子・父子自立支援員が離婚前後の相談の際に、養育費の重要性などをアドバイスしている。

Q 三ヶ根山スカイライン料金徴収業務の委託業務詳細と利用状況、委託先はどこか。

A 愛知道路コンセッションとの契約に基づき、西尾市シルバー人材センターに委託している。朝8時から夜8時まで、幡豆と蒲郡料金徴収所での通行料金の徴収・領収書の発行、回数通行券の販売、路上落下物の除去などの道路維持管理業務である。令和3年度の利用台数は5万5629台、4年度は5万469台、5年度は4万4985台で減少傾向にある。



決算認定

経済建設分科会

Q 土砂災害警戒区域の箇所数、区域内に民家がある箇所数、要配慮者が利用する施設がある箇所はどのようなか。

A 土砂災害警戒区域は439カ所で、区域内に民家があるのは269カ所、要配慮者が利用する施設のある箇所数は11カ所である。

Q 住宅使用料の収入未済額の詳細はどのようなか。

A 収入未済額の内訳は現年度分の滞納者が43人で、収入未済額が288万4685円。過年度分の滞納者が76人で、収入未済額が2056万2651円。滞納者の合計は119人で、収入未済額が2344万7336円。滞納者は令和4年度より4人増加した。

Q 西尾市特定非営利活動法人設立補助金の詳細はどのようなか。

A 「特定非営利活動法人TNR—RESGATO」の代表から申請があり補助した。野良猫のトラブルや飼っている猫の困りごとに係る問題の改善や解決を図り、生活環境の向上と地域社会における動物愛護の発展に貢献することを目的にしている。

Q 市民活動推進業務委託料の委託先、選定方法は。その効果と評価はどのようなか。

A 委託先は特定非営利活動法人やらまいか人まちサポートで、選定方法は随意契約である。実績は市民活動の広報・情報誌の作成支援を2205件、市民活動の相談を118件、コーディネートをした31件、市民活動をする中でNPO設立に関する相談や市民活動の交流事業などの啓発を246件。市民活動をサポートする機能として大切な役割を担っており、地域の活性化と社会課題の解決を進めるなど、市にとって、なくてはならない機能である。

Q 公園整備の詳細はどのようなか。

A 国庫補助分の国森公園で4020万8300円、県補助分のにしのみ茶公園で6022万2800円、古川緑地の岡ノ山遊ばっ茶広場園路整備で1930万3900円、市単独分の矢作川西尾緑地のトイレ改修で3584万5700円、園路改修で968万8800円、中畑緑地のトイレ設置で942万5900円、西尾市スポーツ公園駐車場のトイレ公共下水道接続で425万8100円である。



Q 自転車ネットワーク計画策定業務委託料の詳細はどのようなか。

A 計画は2カ年での策定を予定。初年度の令和5年度は自転車・歩行者交通の特性と課題を整理し、基本方針を「安全・安心・快適な自転車利用環境の創出」と定め、計画目標を「高校生の安全な自転車通学環境の確保、商業施設周辺の快適な自転車通行空間の整備、自転車ルール・マナーの周知」とした。2年目の6年度は構築路線の選定、整備素案の検討を行い、自転車ネットワーク計画を策定する。

Q 未来共創拠点設置運営事業で設置したニコラボの実績評価、課題はどのようなか。

A 事業者支援に係る相談実績は、4月が延べ22回、5月が延べ25回、6月が延べ35回、7月が延べ53回で、合計135回。リピート率も高く、増加傾向にあり、相談者からは高評価を受けている。相談予約が取りにくくなってしまうことが課題である。

Q マイナンバーカードの交付枚数と減少理由の分析はどのようなか。

A 交付枚数は令和2年度が2万1197枚、3年度が4万1409枚、4年度が3万8083枚、5年度が1万7214枚。5年度はマイナポイント施策が終了したことで申請者が減少した。



Q 西尾市LINE公式アカウントによる道路補修の要望件数や実施件数はどのようなか。

A 土木全般のLINEによる通報件数は、運用開始の令和5年9月から6年3月末までに349件を受理しており、215件に対応した。

Q 災害ボランティアコーディネーター養成事業の参加人数は。災害時に十分なコーディネーターが集まるのか。

A 令和5年度の養成講座の受講者は17人。災害時にコーディネーターが不足なくなった場合は、市社会福祉協議会から県社会福祉協議会へ派遣要請をすれば、県内外の社会福祉協議会からコーディネーターが派遣されることになっている。

審議結果

01 / 7月臨時会(7月 16日) で審議され可決された議案

補正予算 令和6年度西尾市一般会計補正予算(第3号)

02 / 9月定例会で審議され可決された議案等

★西尾市教育委員会委員に石崎光子氏を任命することに同意しました。

★西尾市監査委員に大河内博之氏を選任することに同意しました。

条例など	西尾市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市が設置する一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査結果の縦覧等の手続に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市渡船事業運航に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	西尾市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について
	市道路線の認定について
	工事請負契約について
	財産の取得について
	令和5年度西尾市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	令和5年度西尾市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について
	工事請負契約について(メインアリーナ天井等改修工事)
	工事請負契約について(メインアリーナ天井等改修電気設備工事)
	財産の取得について(グランドピアノ一式)
	損害賠償の額の決定について
	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書
補正予算	令和6年度西尾市一般会計補正予算(第4号)
	令和6年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)
	令和6年度西尾市介護保険特別会計補正予算(第1号)
	令和6年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
	令和6年度西尾市佐久島診療所事業特別会計補正予算(第2号)
	令和6年度西尾市病院事業会計補正予算(第1号)
	令和6年度西尾市一般会計補正予算(第5号)
決 算	令和5年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度西尾市佐久島診療所事業特別会計歳入歳出決算の認定について
	令和5年度西尾市病院事業会計決算の認定について
	令和5年度西尾市水道事業会計決算の認定について
	令和5年度西尾市下水道事業会計決算の認定について
	令和5年度西尾市渡船事業会計決算の認定について

政府などへ意見書を提出

定数改善計画の早期策定・実施と、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国庫負担率2分の1への復元にむけて、国へ要請しました。

提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣

●議員選出監査委員



大河内 博之

審議結果

03 / 9月定例会に提出された陳情書

陳情書	公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択
	最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択
	ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情書	不採択
	母（王乖彦）が中国で不法に逮捕されている件に関する陳情	議長預かり
	新型コロナワクチン健康被害の実態と次世代型コロナmRNAワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知」と「mRNAワクチン定期接種中止を求める意見書提出」を求める陳情	不採択
	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情書	採択
	「現行の健康保険証とマイナ保険証の両立を求める意見書」の提出を求める陳情書	議長預かり
	「介護従事者の処遇改善と確保について早急に求める意見書」の提出を求める陳情書	議長預かり
	「訪問介護費の引き下げ撤回と介護報酬引き上げの再改定を早急に求める意見書」の提出を求める陳情書	議長預かり
	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	趣旨採択
	私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	趣旨採択
	政党機関紙の庁舎内勧誘等で圧力行為の実態調査の実施を求める陳情書	不採択

04 / 議員の賛否の分かれた議案等

7月臨時会及び9月定例会へ提出された議案、陳情のうち、賛否が分かれたものについて掲載します。

議案名	議決結果	会派・議員名・表決態度																													
		新政令和								新しい風				西尾みらい		自民隆盛会	共産党	公明党	賛同向上をめざす 無所属の会			無所属									
		神谷庄二	鈴木正章	稲垣一夫	松井晋一郎	渡辺信行	本郷照代	青山繁	中村直行	中根志信	中根文彦	小林孝幸	福西章人	牧一心	磯部雅弘	藤井基夫	山本道代	永山英人	神谷雅章	松崎隆治	牧野次郎	前田修	大河内博之	大塚久美子	鈴木規子	佐々木映美	杉浦功記	筒井登	中村眞一	犬飼勝博	黒辺一彦
財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○
令和6年度西尾市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
財産の取得について（ブランドピアノ式）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	欠席
西尾市監査委員の選任の同意について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	陰斥	○	○	○	○	○	×	○	○	○
令和5年度西尾市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○
令和5年度西尾市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度西尾市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度西尾市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
「1年単位の変形労働時間制」導入のための条例制定ではなく、教職員の長時間過密労働解消のための施策を求める意見書の提出を求める陳情	趣旨採択	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	○	○	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨	趣旨
最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
ガザ地区の即時停戦のための積極的外交を政府に要求する意見書の提出を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
「新型コロナワクチン健康被害の実態と次世代型コロナmRNAワクチン（レプリコンワクチン）の危険性に関する周知」と「mRNAワクチン定期接種中止を求める意見書提出」を求める陳情	不採択	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×
国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	○	○	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同
愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	○	○	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同
私立高校生の父母負担を軽減し、学費負担の公私格差を是正するために西尾市独自の授業料助成制度の拡充を求める陳情書	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	○	○	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同	賛同
政党機関紙の庁舎内勧誘等で暴力行為の実態調査の実施を求める陳情書	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×

「○」…賛成(採択) 「×」…反対(不採択) 「趣旨」…趣旨採択 「※」…議長のため採決に加わりません。

お知らせ

次回12月定例会の予定

日	月	火	水	木	金	土
11/24	25	26 議会運営 委員会	27	28	29 本会議 予算決算 委員会	30
12/1	2 本会議	3 本会議	4 本会議 (予備日)	5	6 企画総務 委員会・ 分科会	7
8	9 厚生環境 委員会・ 分科会	10 文教交流 委員会・ 分科会	11 経済建設 委員会・ 分科会	12	13	14
15	16 予算決算 委員会	17 議会運営 委員会	18	19	20 本会議	21

会議は通常 10 時開会です。
※予定は変更になる場合があります。

議会を聴く

西尾市議会は、『開かれた議会』を目指し、議会を公開しています。傍聴をご希望の方は、議会開催日に議会事務局(6階)までお越しください。

- ・議場での傍聴………本会議
- ・委員会室での傍聴…常任委員会、議会運営委員会、
全員協議会、部会

表紙の写真

タイトル：昭和初期の庭園で七五三

応募者：匿名(戸ヶ崎)

写真の説明：西尾市錦城町にある尚古荘で七五三の記念写真を撮影しました。1,000 坪を超える敷地には書院、茶室「不言庵(ふげんあん)」、待合い、東屋、門などが配られています。深呼吸したくなり、時間が昭和の時代のように、ゆっくり流れる場所でした。

※一般質問の記事については、質問議員から提出された原稿をもとに作成しています。

電話 65-2182
FAX 54-0311

西尾市議会 広報委員会

広報委員
◎青山 繁 ◎前田 修
佐々木映美 中村 直行
中根 文彦 中根 志信
黒辺 一彦 大塚久美子
本郷 照代 神谷 雅章
(◎委員長 ○副委員長)

市政などの要望を議会で議論してもらいたい場合は、どなたでも「請願」や「陳情」を提出できます。強い想いのある方は、その想いをぜひ議会に届けてください。お待ちしております。

音訳版・点字版のにしお市議会だより

目が不自由な方などのために、音訳版・点字版のにしお市議会だよりを作成し、お渡ししています。希望者は市社会福祉協議会へお問い合わせください。音訳版は市ホームページで公開しています。

市社会福祉協議会
(☎56・5900/総合福祉センター内)
閩福祉課(☎65・2113)

議会を見る

放送チャンネル

ケーブルテレビ「キャッチネットワーク」
地上デジタル 112ch

12月定例会放映日時

12月 6日(金)(12月2日一般質問)

12月10日(火)(12月3日一般質問)

12月25日(水)(12月4日予備日)

※いずれも10時から放送します。

※放送日時が変更となる場合があります。

インターネットで議会を見てみよう

西尾市ホームページまたは
右記QRコードからアクセス
できます。



編集室
No.156

